

「見上げた空には」 渡邊健一 (神奈川県相模原市立上鶴間中学校)

—1996年度フォトコンテスト「撮っておきの京都」修学旅行の部特選—



4月から消費税率が5%に

修学旅行等は経過措置適用

四月一日以降、消費税率が3%から5%に引き上げられる。修学旅行等については、平成九年度に実施されるものについて経過措置が適用される。本紙第41号(平成八年九月)の記事を掲載し

たが、要点を再報する。

改正法附則第十条第三項の規定により、指定日(平成八年十月一日)前に締結された契約に基づき、適用日(平成九年四月一日)以降に課税資産の譲渡等を行う場合は、消費税率は旧税率の3%でよいことになる。

修学旅行等は経過措置の対象となり、小・中・高・各種学校等が平成九年度中に実施するもの(平成十年三月三十一日帰着まで)に限り、旧税率3%が適用される。

修学旅行新聞

発行所 財団法人 協会 全国修学旅行研究 東京千代田区 千代田1-17-1 (NK第一ビル) 電話 03(5259)0631 振替 00160-7-36337

財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

修学旅行等の実施証明書

当該旅行の実施については下記の通り証明いたします。

平成 年 月 日

所在地 _____

学校名 _____

校長名 _____

記

(1) 旅行期間 平成 年 月 日 - 平成 年 月 日

(2) 学年 男子 学年 _____ 名

女子 学年 _____ 名

引率 引率 _____

その他 _____

実施証明書の様式 (用紙は旅行業者が用意)

学校長は「修学旅行等の実施証明書」を出発前に発行し、旅行業者へ交付、保管される。修学旅行に準じて実施される公式行事としての旅行にも適用され、海外修学旅行の場合は国内旅行業者へ。

主張

広い視野で体験学習を

広報委員 北條直樹

奈良と名古屋で行われた全修協主催の修学旅行研究大会で、修学旅行における体験学習に関し、次のような質問が出た。

- ① 東京で班別活動を取り入れようとする、原宿の希望が多い。
- ② いろいろな体験もよいが、近くまで来て、どうして東照宮を省くのか。
- ③ 一方、次のような作文がある。
- ④ 学校の席にすわっていただけでいい習えない一生に一度の最高の授業でした。この私が見たような自然の体験を日光に来た人みんなにしてみたいです。——「みんな歩いた戦場ヶ原」小学生・本紙41号(平成8年11月)
- ⑤ 国宝や重要文化財、ましては伝統などといった形式的な価値ではなく、先人から受け継いだ遺産や文化を敬

い、貴ぶ心こそ最も重要だと思ふ。その心こそ本心に守らなければならぬ。人類の財産だと言えないだろうか。

——95年京都市中学生記者文化財コンクール入賞作品

先の二つの質問と、この作文を重ね合わせてみると、そこに修学旅行における体験学習の内容についての問題点が見えてくると思ふ。

学習指導要領は、教科・領域を通じて「体験」を重視している。しかし修学旅行では、質問①のように、班別活動という方法＝体験学習として、質問②のように、身体を動かす活動のみを体験学習ととらえている傾向がないとは言えない。

①の問題については、学校においてあらかじめ各班の行先をチェックする

るなどの方法がとられているが、当然のことながら危険防止に重点がおかれ、内容は二の次になる傾向があるのではないかと、また作文が指摘するよう、班別活動という「形」にとらわれ過ぎ、「みんな」歩いて、大自然に感動したような内容のものがあふれているのではないかと感じている。

また②については、関係団体・業者から地引網、陶芸等さまざまな情報が提供されて、作業を伴った体験学習と錯覚してしまうのではないだろうか。それも必要に迫られているが、大切なのは学校側がそれを資料としてどう扱うか、修学旅行全体の中でどう位置づけるかということである。

持った文化財の価値は極めて大きい。京都の文化財を中心とする修学旅行が依然根強いのも、また京都の中学生が改めてその価値を再認識し、その心を受け継いでいるのも、修学旅行の内容の在り方への示唆と言つて可い。

今、各地で自然破壊が問題になってい。小学生の取り上げた奥日光の自然に限らず、日本の優れた自然を学び、感動し、破壊から守る心を養つことは、修学旅行生にとって極めて大きな意義があるといわねばならない。

都会の子に地引網もよい。農村の子が、大都会で班別活動を通してその雰囲気を感じることが多い。しかしそれだけで修学旅行の中心ではない。集団生活を通して自主性・社会性の伸長を旨とするにも、学校の教育活動の全体像を展望し、生徒の生活環境を動かし、更に広い視野で自然・文化を学び、大切にしようとする大きな「体験」が修学旅行にあることを忘れてはならないのである。

旅行の部では、清水寺・銀閣寺など名高い寺院のほか、最近の体験学習を受け、京の台所「錦」なども登場し、パノラマを生かした作品とともに広がりを感じられ、関係者を喜ばせた。

また校種別では昨年に引き継ぎ、中学生の進出が目立つた。応募数は、修学旅行度フォトコンテスト「最終選考」が、二月十三日京都口イタルホテルで行われた。

「撮っておきの京都」をテーマに、京都のよさを紹介し、観光誘致にも役立てようというもので、写真家 健一(神奈川県・上鶴間中) 準特選

「清水寺ウラの桜」 松沢 佑香利(長野・上田五中)

「緑と銀閣寺」 岡田英三(東京・馬込東中)

「フジフィルム賞」 「錦」NISI-KI

「冬の旅」 素野千世(東京・学習院女子高等科)

「清水の舞台でメイクラマ」 内藤旭恵(東京・明星中)

財団法人全国修学旅行研究協会は、第八十三回理事会・第三十七回評議員会を、来る五月二十日(火)に東京・グランドヒル市ヶ谷で開催する。

風紋

雪のシーズンも終盤を迎え、春三月はダイヤ改正の月。八日には大阪市内を横断するJR東西線が開通し、木津と篠山口が地下経由で直結した。二十一日にはいよいよ秋田新幹線と北越急行が開通する。首都圏と秋田や北陸との間の所要時間が大幅に短縮され、特に北陸は運賃・料金が安くなつて、雪解けとともに二重三重の喜び到来となる。

先日、東京から北に向かう列車で、クラブ活動の合宿に行く大学生のグループと乗り合わせた。携帯電話が乗り遅れや途中乗車車の連絡に大いに役立っていたが、長話はいささか気がなつた。通話料のことなど関係ないのだろうか。車中での彼らの話題が、今年の大学入試センター試験に海外修学旅行や「ガラ湯沢」の問題が出たことから、修学旅行のことに移ったので思わず耳を傾けていた。京都も東京も知らない者の多いことが意外だった。

小・中・高の修学旅行の目的地は、東北出身者が「松島・静岡・韓国」、関東出身者が「箱根・東北・四国」、山陰出身者が「広島・長崎・不実施」、九州出身者が「霧島・飛騨高山・英仏」と多彩だが、東京出身者の「日光・京都・京都」が圧倒的に多い。この「日光」も食べたことがないので、「帰りに是非」という者までいた。来年の合宿は京都にしたいと意見がまとまったが、私立校や中高一貫教育以外でも、目的地的選定には小・中・高の連携が必要ではなからうか。

「帰りに是非」という者までいた。来年の合宿は京都にしたいと意見がまとまったが、私立校や中高一貫教育以外でも、目的地的選定には小・中・高の連携が必要ではなからうか。

夢と感動の修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号 (社) 日本旅行業協会会員

楽しい旅に、大きな安心。

TOKIO MARINE

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

